

Reporter Blues (1991)

メディア TV アニメ

ジャンル

製作国 日本

色彩 Color

TV放映 1991/10/03 ~ 1991/11/08
NHK BS2

【解説】

イタリア国営放送RAIと日本の東京ムービー新社（TMS）が製作したTVアニメシリーズ。他社と異なりTMSが携わった海外向け作品は日本側のキャラクターデザインを活かすことが特徴の一つだが、本作も名アニメーターである杉野昭夫のものが採用された。時は第一次世界大戦後の1920年代。フランスの新聞社「LA VOIX DE PARIS」で働く一人の活発な美人記者がいた。その名はアントワネット・プラトゥ。トニーの愛称で親しまれる彼女は、相棒のカメラマンである青年アラン、チーフのシャイヨ、その秘書で星占い好きの女性ウリア、さらにトニーの愛猫フィリップたちとともに様々な事件を日夜追う。オフの時はマークたち多くの仲間が集まった音楽グループ「パリ・ブルース」でサックスを奏でるトニーだが、フランスだけでなくヨーロッパ各地に出没する女賊マダム・ラパンとその部下イゴの悪事は決して見逃さない。持ち前の行動力をふるい、トニーとアランはマダム・ラパンの犯罪計画に挑むが。本作はTMSの作品らしくハーモニー方式を用いた画面も散見。作画にはビーボオーら日本のアニメスタジオも参加している。

【クレジット】

監督 こだま兼嗣
企画 マルコ・パゴット
原案 マルコ・パゴット
作画監督 杉野昭夫
我妻宏
山本天志